

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》
平成29年度施策 評価シート

評価コード 2

施策の方向	多様な主体に向けた広報啓発の推進
担当課	男女共同参画課・男女共同参画センター

1 事業の概要

基本目標	1	施策の方向	1	施策の内容	DVの根絶に向けた啓発の充実
当初予算額(千円)		18,728		決算額(千円)	17,852
事業の概要・目的	5 DV防止セミナーの充実（男女共同参画課） より多くの県民にDVを身近な問題として考えてもらうため、DVの現状と対応について学ぶDV防止セミナーの開催回数を拡大し、地域でのDV防止の意識を高める。				
	6・7 加害者を生まないための対策（男女共同参画課・男女共同参画センター） 加害者が早い段階で、自らがやっている行為がDVであり重大な人権侵害であることを認識し改善に繋げていけるよう、意識啓発を図る。また、若者を対象に加害者にも被害者にもならないように相手の人権を尊重していけるようDV予防教育を行う。 さらに、DVに悩んでいる方に相談窓口を広く周知し、加害者からの相談にも応じることににより、加害者に対する意識啓発を行うなど、DVの防止に努める。 加害者更生プログラムについては、国の動向を注視し、情報収集に努める。				
数値目標など					
指標名等	DV防止セミナーの開催回数の拡大				
目標	年2回以上	実績	年3回		

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

<p>5 【当初予算90千円・決算259千円】 一般県民向けのDV防止セミナーを3回実施し147名が受講した。 ・11/16(木)11:00～12:00 女性のためのDV・児童虐待予防セミナー 「幸せ夫婦リメイク講座～不幸予防ははじめませんか?～」受講者64名(他同伴児11名) ・11/17(金)18:30～19:30 男性のためのDV・児童虐待予防セミナー 「DVなんて他人事にひそむ危険～知っておきたいDV・児童虐待の基礎知識～」受講者25名 ・3/17(土)13:30～15:00 若者・子育て世代・熟年世代のためのDV予防セミナー 「力の魔術を超えて～DVをしないために受けないために～」受講者58名</p> <p>6・7 【当初予算18,638千円・決算17,593千円】 ・男性のための一般相談及びカウンセリングを実施した。【当初予算3,050千円・決算2,014千円】 電話相談557件（うちDV被害32件）・カウンセリング75件（うちDV被害7件） ・女性のための一般相談及びカウンセリングを実施した。【当初予算15,588千円・決算15,579千円】 電話相談5,981件（うちDV被害731件）・面接相談272件（うちDV被害203件） カウンセリング302件（うちDV被害173件）・法律相談40件（うちDV被害35件） こころの相談26件（うちDV被害15件） ・若者のためのDV予防セミナーを40回開催した。（再掲） ・男性のためのDV・児童虐待予防セミナーを開催した。（再掲） ・船橋競馬場ナイター競馬中のターフビジョンでDV防止の画像広報を行うなど、男性の目に触れる広報啓発に努めた。（再掲）</p>
--

(2) 評価（別紙視点参照）

<p>5 開催の曜日や時間帯の異なる講座を複数回開催することにより、若者から高齢者まで幅広い県民にDVや児童虐待について周知できた。特に、平日午前子ども連れ可として開催したセミナーは、子ども連れの受講者が約15%を占め、20代から40代の受講者が約7割にのぼるなど、DVや児童虐待の発生の多い子育て世代への周知ができた。 また、受講者アンケートでは、どのセミナーにおいても約9割の者がDV（児童虐待）について理解したと回答しており、DV等に関する県民の認識を深めることができた。</p> <p>6 男女共同参画センターで実施する男性専門相談の件数は高止まり傾向にあり、被害者からの相談に限定せず、加害者からの相談にも対応している。男性専門相談の電話番号については、キャンペーンや自治会の回覧板により配布したチラシの他、高校生向けのデートDV相談カードやデートDV啓発リーフレットにも記載し、広く県民への周知を図っている。</p>
--

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<課題・改善すべき点>

5 平日夜に開催したセミナーは参加者が少なく、また、3回のセミナー時のアンケートでも、講座に参加しやすい曜日・時間で平日夜の希望は少なかった。

6 加害者対策は国の動向が不透明であり、県としても独自の方策が検討しにくい状況にある。

<今後の方針>

5 今後も、多くの県民が参加しやすい曜日や時間などを考慮してセミナーを複数回実施し、広く県民にDVの予防・未然防止の機運を醸成していく。

6 国の加害者対策の動向を注視していくとともに、男性向けの相談窓口の広報を継続して行う。

4 委員意見

DV防止セミナーの参加人数は前年度より増加してはいるが、会場定員の半分にも満たない状況である。参加者アンケートなどを活用してより効果的な周知を行い、更なる参加者増に努めてほしい。DV防止セミナーをはじめとする広報啓発は、手法によっては加害者対策に資するものとなりうる。児童相談所等と連携し、様々な角度から加害者に対してDV防止をアプローチしてほしい。